

■ 掲示板

■ 理化学研究所 播磨研究所 ポスドク研究員募集 — コヒーレント X 線回折イメージング研究

理化学研究所播磨研究所の X 線自由電子レーザー (XFEL) では、ナノスケール構造やバイオシステム構造のコヒーレント X 線回折イメージングについての研究に従事するポスドク研究員を募集します。現在の専門は問いませんが、放射光科学の分野、または以下の分野において経験のある方の応募を歓迎致します (固体物理、光学、生物物理学、タンパク質結晶学)。採用後は、SPRING-8、極紫外自由電子レーザー、2010年稼働予定 X 線自由電子レーザー (XFEL) 等を光源として、コヒーレント回折イメージング研究を進めます。

受入機関：独立行政法人 理化学研究所 播磨研究所
XFEL 独立主幹ユニット

(ユニットリーダー：Dr. Changyong Song)

予定人数：若干名

着任時期：応相談

締め切り：選考は2008年3月より開始し、ポジションが埋まり次第締め切ります。

応募方法：履歴書・研究業績一覧・主要論文別刷等・推薦状2通・これまでの研究内容の概要と今後の抱負を英語で作成し、xfeluser@spring8.or.jp まで送付。

期間：年度契約の任期制職員、2013年3月まで更新可能。

給与：経験、能力、実績に基づく。

通勤手当、住宅手当、社会保険有り。

* 日本学生支援機構奨学金免除の対象、科学研究費補助金の申請資格有り。

休日：土・日、祝日、年末年始、理研の創立記念日

問合せ先：

理化学研究所 播磨研究所 放射光科学総合研究センター
〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都 1丁目1番1号
石川哲也

TEL：0791-58-2800 FAX：0791-58-2898

E-MAIL：xfeluser@spring8.or.jp

■ スプリングエイトサービス株式会社 社員募集

職務内容：放射光施設のビームライン維持管理業務及び研究・実験支援業務

勤務地：佐賀県鳥栖市弥生が丘 8-7 佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター

着任時期：平成20年4月1日 (以後の場合は相談により決定)

応募資格：

- 1) 大卒以上 (理学部・工学部)
- 2) 放射光ビームラインに対する知識・取扱経験を有する方
- 3) 協調性があり、前向きに何にでもチャレンジできる方

採用人員：3名

応募方法：職務内容を明記の上、履歴書 (写真割付) 職務経歴書

を下記宛に郵送して下さい。その他論文リスト等があれば同封して下さい。

書類送付・御問い合わせ先：

〒678-1205 兵庫県赤穂郡上郡町光都 2-23-1

スプリングエイトサービス株式会社

技術部担当 牛建

(TEL) 0791-58-1839 (e-mail) ushitate@spring8.or.jp

(URL) <http://www.ses-spring8.co.jp/>

■ 平成20年度後期 高エネルギー加速器研究機構 物質構造 科学研究所

放射光共同利用実験課題公募

募集対象：当施設の放射光および低速陽電子を利用する実験。

主に大学等の研究者を対象としますが、科学研究費補助金の申請資格を有する一部の企業等の基礎研究も対象となります。

応募期限：平成20年5月2日 (金) 必着

応募要領：申請書は、電子メールでの受付となりました。

電子メールで提出の際、タイトルは PF_proposal (実験責任者) とし電子メールアドレス proposal@mail.kek.jp 宛に送信してください。

具体的な申請書作成等に関する詳細については <http://www.kek.jp/uskek/apply/pf.html> を参照ください。

研究成果は公表して頂きます。

予算の範囲内で旅費支給等の便宜供与を行います。

申込、資料請求先：

高エネルギー加速器研究機構 総務部 研究協力課

共同利用支援室 共同利用係

Tel：029-864-5126

E-mail：kyodo1@mail.kek.jp

■ 兵庫県立大学高度産業科学技術研究所 教員公募要領

公募人員：助教1名

所属部門：放射光ナノ工学分野

専門分野：量子ビーム応用分野での研究の実績があり、さらに放射光の新しい産業利用研究を推進し、中核的な役割を果たせること。特に、計算機シミュレーションに関心のあることが望まれる。
応募資格：①博士の学位を有する方、もしくは取得見込みのある方、②35歳前後までの方、③大学・大学院教育、研究指導にも情熱のある方

着任時期：遅くとも2008年10月1日

任期：有り7年、再任1回可能任期5年

提出書類：

- ① 履歴書 (写真添付)
- ② 研究業績の概要 (1000字程度)
- ③ 研究業績リスト (論文、特許、著書、解説など)
- ④ 主要論文別刷り3編 (コピー可)

⑤ 着任後の研究計画と教育への抱負（各々1000字程度）

⑥ 照会可能者2名の氏名・連絡先

応募最終締切：2008年6月1日（消印有効）

書類提出および問い合わせ先：

〒678-1205 赤穂郡上郡町光都 3-1-2

兵庫県立大学高度産業科学技術研究所 木下博雄

「教員応募書類在中」と朱筆（書類否返却）

TEL：0791-58-2546

■ 会告

■ 第12回日本放射光学会奨励賞選考結果報告

2007年9月15日開催の学術等選考委員会の選考結果として、3名が推薦された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記のとおり。

その結果を受け、第76回評議員会にて第12回日本放射光学会奨励賞の授与が承認され、第21回総会にて賞状並びに副賞のメダルが授与された。

・若林裕助氏（高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光科学第二研究室）

「放射光共鳴散乱を応用した軌道・電荷秩序の観測手法の開発研究」

若林裕助氏は、共鳴 X 線散乱、散漫散乱などを組み合わせることによって強相関電子系物質の軌道秩序・電荷秩序の研究を行ない大きな成果をあげている。共鳴 X 線散乱は、強相関系物質の軌道秩序を観測する実験手段として広く用いられているが、その観測の機構については論争があった。若林裕助氏は、実験的観点から共鳴 X 線散乱の機構の解明に取り組み、共鳴 X 線散乱が、当初考えられていたような電荷の異方的分布による現象ではなく、電荷分布の異方性を反映して現れるヤーン・テラー歪による現象であることを明らかにし、異方的電荷分布をもつ物質の構造物性の解明に対する共鳴 X 線散乱の適用法を確立した。さらに、この手法を適用して、金属絶縁体一次転移を示すマンガン酸化物薄膜の歪モードによる軌道秩序の形成のメカニズムを明らかにすることに成功した。また、若林裕助氏は、金属イオンの価数配列が三次元秩序を持たず一次元鎖内でしか秩序化していない有機物質の鎖内の価数配列を、散漫散乱強度の空間分布状態とエネルギースペクトル依存性によって決定することに成功し、低次元秩序しかもたない物質の電荷秩序構造を決定する手法を確立した。

以上のように、放射光の回折実験による電荷秩序・軌道秩序の研究に新たな展開を付与した若林裕助氏の功績は大きく、日本放射光学会奨励賞に十分に値するものであり、また、今後の発展が期待できる若手研究者である。

・堀場弘司氏（東京大学 大学院工学系研究科 応用化学専攻）

「軟 X 線・硬 X 線光電子分光による強相関化合物の電子状態の研究」

堀場弘司氏は放射光を用いた光電子分光の研究に従事し、PFのBL-1Cの設計、建設、分光特性評価、角度分解光電子分光システムの建設で中心的な役割を果たし、レーザー MBE 法を用いた $\text{La}_{1-x}\text{Sr}_x\text{MnO}_3$ 系薄膜のコンビナトリアル結晶成長と *in situ* 軟 X 線光電子分光と X 線吸収分光を組み合わせた解析法の確立に大きな貢献を成した。強相関系酸化物について従来は主に劈開できる二次元結晶の ARPES しか行えなかったが、このシステムを用いることにより、三次元結晶の真の電子状態が初めて解明出来

るようになった。さらに様々な表面や界面における電子状態を解明し、三次元結晶の電子構造やヘテロ界面電子構造の放射光解析という新しい研究分野を切り拓いてきた。さらに、SPring-8のBL17SU ビームラインに新しくレーザー MBE を含む角度分解光電子分光システムを構築し、強相関系酸化物薄膜の電子状態の解析に大きな成果を挙げている。

一方、SPring-8 の特徴である硬 X 線を用いた高分解能光電子分光を活用して、LSMO 薄膜の Mn 2p 内殻準位スペクトルに現れる well-screened state を初めて見出し、そのメカニズムを解明した。また、価電子帯の電子状態を内殻準位スペクトルで解析することにより、埋もれた界面での電子状態や基板からの歪みで modify される電子状態を明瞭に識別する手法を応用した実験を行い大きな注目を集めた。

以上のように、堀場弘司氏の放射光科学における功績は大きく、日本放射光学会奨励賞に十分に値するものであり、また、今後の発展が期待できる若手研究者である。

・加藤健一氏（理化学研究所 播磨研究所 放射光科学総合研究センター）

「放射光粉末回折法による光誘起構造物性の研究」

加藤健一氏は、SPring-8 で展開される放射光粉末回折マキシマムエントロピー法 (MEM) による電子密度マッピングの研究をベースに、光誘起構造相転移のその場観察システムを構築し、光誘起現象による構造変化を電子分布レベルで明らかにできることを実験的に示した。具体的には、粉末試料法を用いることによって、観測対象となる結晶粒径を数 μm とすることで、レーザー光の侵入長と結晶サイズを同程度とし、プローブ光である X 線に比べると励起光可視光レーザーの侵入長が物質のごく表面に限られるために X 線構造解析の精度を上げることが困難であるという問題点を解決した。更に独自に考案した光照射下実験と試料充填法の改良により、光誘起効率を10倍以上高くし、実験精度を飛躍的に向上させた。この方法で、測定したデータに MEM を適用して高精度電子密度マッピングをできるようにして、放射光による光誘起相転移の構造研究の基礎を築いた。この手法を、光に対する物性の応答速度が異なる、光誘起磁性を示す遷移金属シアノ錯体 $\text{RbMn}[\text{Fe}(\text{CN})_6]$ 、光誘起 LS-HS 転移を示すスピノクロスオーバー錯体 $\text{Fe}(\text{phen})_2(\text{NCS})_2$ 、光誘起金属絶縁体転移を示す有機導体 (EDO-TTF) $_2$ PF $_6$ などに適用し、それぞれの光誘起現象に対して電子密度レベルでの構造変化を解明した。

以上のように、放射光利用研究において新たな展開を付与した加藤健一氏の功績は大きく、日本放射光学会奨励賞に十分に値するものであり、また、今後の発展が期待できる若手研究者である。

■日本放射光学会第77回評議員会議事録

日時：2008年1月12日(土) 12:10~13:10

場所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス ローム記念館
会議室

出席者：雨宮慶幸（会長）、安藤正海、飯田厚夫、太田俊明、
大橋治彦、尾嶋正治、籠島 靖、加藤政博、木村真一、
小杉信博、佐々木聡、澤 博（会計幹事）、繁政英治
（渉外幹事）、下村 理、辛 埴、寿栄松宏仁、
大門 寛、高田昌樹、竹田美和、田中 均、並河一道
（議長）、水木純一郎、柳下 明、若槻壮市 各評議員
櫻井吉晴（編集幹事）、百生 敦（庶務幹事）、山本雅貴
（行事幹事）

欠席者：朝倉清高、大柳宏之、鎌田雅夫、関 一彦、藤森 淳、
間瀬一彦

事務局：佐藤亜己奈（WORDS）、西野三和子（WORDS）

〈審議事項〉

- 2007年度決算・2008年度予算
澤会計幹事より、2007年度決算報告および2008年度予算の
説明があり、承認された。
- 共催、協賛等の規定について
百生庶務幹事より、本学会には主催・共催・協賛・後援等に
関する正式な規定が無い場合、規定案を作成したとの説明が
あった。これについては次回評議員会で最終案を示し、承認
を得ることとなった。
- 名誉会員の規定について
山本行事幹事より、「財政支出に関する取り決め」の改訂案
について説明があり、審議の結果承認された。その結果、名
誉会員は年会・合同シンポジウムの参加費・懇親会費とも無
料とすることとなった。
- 総会議事について
第21回総会の議事を確認した。
- 会員の異動状況
百生庶務幹事より、第76回評議員会以降の入退会申請者に
関して、入会：正会員13名（うち学生会員5名）、賛助会員
3社を承認した。退会に関して、退会：正会員9名（うち学
生会員4名）を確認した。また、会費3年間未納のための
強制退会者39名を確認した。2008年1月12日現在の総会
員数は1305名（うち学生会員241名）、賛助会員53社（57口）。
- 協賛等について
繁政渉外幹事より本学会に対する協賛依頼等について報告が
あり、共催2件、協賛1件を承認した。
- その他
関評議員より、病気療養のため評議員辞任の申し出があっ
た。審議の結果これを認め、欠員分の補充については行わな
いこととした。

〈報告事項〉

- 第21回・22回年会・合同シンポについて
山本行事幹事より、第22回年会・合同シンポ（JSR09）の準
備状況について報告があった。JSR09は2009年1月9日
（金）-12日（月）に20周年式典・シンポジウムとあわせて、東
京大学本郷キャンパスで開催予定である。
また、第21回年会・合同シンポ（JSR08）の企画講演に関し

て、学会誌21-2号への報告書の掲載および次回評議員会
での報告を行う旨説明があった。

- 評議員専用ページについて
繁政渉外幹事より、評議員会専用ページに承認済み議事録を
掲載したとの報告があった。また、評議員会資料の事前配
布についてはパスワードとURLをメールで通知し、各委員
にダウンロードをしてもらう形式としたことが報告された。
- 評議員会日程の確認
第78回評議員会 2008年4月5日(土) 14:00-16:00
場所：理研東京連絡事務所 会議室
第79回評議員会 2008年7月12日(土) 14:00-16:00
場所：理研東京連絡事務所 会議室
第80回評議員会 2008年10月25日(土) 14:00-16:00
場所：理研東京連絡事務所 会議室

■第21回（2008年）日本放射光学会総会議事録

日時：2008年1月12日(土) 14:20~15:50

場所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス R1 会場

出席者：出席者：105名 委任状：70名 計：175名

定款第28条により、正会員の1/10（130名）以上の参加で総会
は成立。

（議事）

- 議長選出
議長に並河一道会員を選出した。
- 2008年度会長挨拶
雨宮会長より挨拶があり、2008年度の活動方針について所
信表明があった。
- 2007年度事業報告
百生庶務幹事より2007年度の学会活動について報告があっ
た。
- 2008年度事業計画・2008年度学会組織
百生庶務幹事より2008年度の実業計画および2008年度の学
会組織（会長、幹事、評議員、各委員会）について報告があ
った。
- 2008年度行事活動方針
山本行事幹事より2008年度の行事活動方針について報告が
あった。
- 2008年度庶務幹事活動方針
百生庶務幹事より2008年度の庶務幹事活動方針について報
告があった。
- 2008年度渉外活動方針
繁政渉外幹事より2008年度の渉外活動方針について報告が
あった。
- 2008年度編集方針
櫻井編集幹事より2008年度の編集方針について報告があっ
た。
- 2008年度会計幹事方針
澤会計幹事より2008年度の会計幹事方針について報告があ
った。
- 第12回学会奨励賞
下記の3名を第12回学会奨励賞の受賞者として決定した旨
の報告があった。

若林裕助 (KEK-PF)
「放射光共鳴散乱を応用した軌道・電荷秩序の観測手法の開発研究」
堀場弘司 (東大工)
「軟 X 線・硬 X 線光電子分光による強相関化合物の電子状態の研究」
加藤健一 (理研播磨)
「放射光粉末回折法による光誘起構造物性の研究」

11. 男女共同参画学協会連絡会へのオブザーバー加盟
男女共同参画学協会連絡会に本学会がオブザーバー会員として加盟申請した旨の報告があった。
12. 創立20周年記念事業について
2009年1月9日(金)-12日(月)に東京大学本郷キャンパスで開催予定である第22回年会・合同シンポジウム (JSR09) の際に、創立20周年記念式典および記念シンポジウムを1月10日に行う予定であることが報告された。
13. 2007年度決算報告
澤会計幹事より2007年度の決算報告があり、承認された。
14. 2008年度予算案
澤会計幹事より2008年度予算案が示され、承認された。
15. 名誉会員推戴
雨宮会長より、波岡武氏、上坪宏道氏、菊田惺志氏を名誉会員に推戴することが提案された。満場一致で決定し、名誉会員証を授与した。

■会員異動

第77回評議員会 (2008年1月12日) で承認

《正会員入会》

三村 哲 (㈱三村製作所)

境 武志 日本大学大学院総合科学研究科
山本 尚人 名古屋大学 工学研究科 マテリアル理工学専攻
材料分野
福山 祥光 高輝度光科学研究センター
太田 高志 東京工業大学
唯 美津木 東京大学 大学院 理学系研究科 化学専攻
岩澤 康裕 東京大学 大学院 理学系研究科 化学専攻
宇尾 基弘 北海道大学 大学院 歯学研究科

以上 8 名

《学生会員入会》

河合健太郎 名古屋大学
上村 寛明 兵庫県立大学
藤村 栄作 兵庫県立大学
川崎 泰介 東京大学 物性研究所
白神 剛志 東京大学 物性研究所

以上 5 名

《賛助会員入会》

日本オートマテック・コントロール㈱ (1 口)
㈱VIC インターナショナル (1 口)
㈱オブティマ (1 口)

以上 3 社

《退会会員》

正会員19名, 学生会員29名

《会員数》

会員 1305名 (内学生 241名) 賛助会員 53社 (57口)

日本放射光学会2007年度決算書

自 2006年12月21日 至 2007年 9月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金	額
会費収入	正会員会費収入 学生会員会費収入 賛助会員会費収入 購読会員会費収入	5,823,500 316,500 2,612,500 523,000	9,275,500
会誌収入	会誌広告収入 会誌販売収入 別刷収入	2,562,740 81,480 909,756	3,553,976
年会・合同シンポ収入			10,215,300
行事開催収入	JSSRR 若手 WS 後援金 (理研・播磨研)	308,618 200,000	508,618
受取利息			859
収入の部合計			23,554,253

2. 支出の部

科 目	細 目	金	額
学会誌出版費	会誌印刷費 発送手数料・郵送料 特集記事単行本化	6,953,073 726,929 0	7,680,002
学会奨励賞費	特注純銀メダル等		147,690
年会・合同シンポ支出			9,785,256
	開催費 委員会旅費 事務管理費	8,140,106 604,400 1,040,750	
行事開催支出	JSSRR 若手 WS		735,288
事業費	会議費 通信費 印刷費 事務局交通費	908,483 524,464 254,878 123,540	1,811,365
管理費	事務用品費 消耗品費 給料手当 (選挙開票アルバイト) 振込手数料・運賃 その他管理費	26,061 118,380 0 525,776 3,500	673,717
事務委託費	ホームページ維持費 Web 会員名簿維持費 会員業務費 一般事務管理費	193,200 152,250 502,320 474,600	1,322,370
会計業務費	税理士顧問料		400,000
支出の部合計			22,555,688

3. 収支計算の部

当期収支差額			998,565
前期繰越金			7,625,016
次期繰越金			8,623,581

2007年度資産負債明細

2007年9月30日現在

1. 資産の部

(単位 円)

科 目	細 目	金	額
1. 現金及び預金	手持現金残高 郵便振替残高 UFJ 銀行普通預金残高 三井住友銀行普通預金残高	437,571 2,289,494 651,350 6,303,681	9,682,096
2. 会費未収金	正会員会費未収残高 学生会員会費未収残高 賛助会員会費未収残高 購読会員会費未収残高 会誌販売未収残高	852,000 270,000 450,000 520,000 340,200	2,432,200
3. 広告費未収金	広告費未収金		554,545
4. 立替金	第21回年会・合同シンポ(旅費など)		1,121,618
5. 学会誌在庫金	学会誌(創刊号-Vol. 20, No. 5)2,064冊		2,109,011
6. 電話加入権			70,000
7. 什器備品	会長用 FAX		14,111
資産の部合計			15,983,581

2. 負債の部

科 目	細 目	金	額
1. 会費前受金	正会員会費 学生会員会費 賛助会員会費	5,490,000 120,000 750,000	6,360,000
2. 預り金		1,000,000	1,000,000
負債の部合計			7,360,000

3. 剰余金の部

科 目	細 目	金	額
1. 前年度繰越金			7,625,016
2. 本年度収支差額			998,565
剰余金の部合計			8,623,581

日本放射光学会2008年度予算書

自 2007年10月 1 日 至 2008年 9 月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金	額
会費収入	正会員会費収入 学生会員会費収入 賛助会員会費収入 購読会員会費収入	9,044,000 369,000 2,437,500 700,000	12,550,500
会誌収入	会誌広告収入 会誌販売収入 別刷収入	3,200,000 150,000 1,400,000	4,750,000
年会・合同シンポ収入			10,136,300
収入の部合計			27,436,800

2. 支出の部

科 目	細 目	金	額
学会誌出版費	会誌印刷費 発送手数料・郵送料 特集記事単行本化	9,000,000 1,000,000 1,000,000	11,000,000
学会奨励賞費	特注純銀メダル等		147,690
年会・合同シンポ支出	開催費 委員会旅費 事務管理費	6,227,133 604,400 1,040,750	7,872,283
行事開催支出	JSSRR 若手 WS 20周年記念事業	300,000 1,000,000	1,300,000
事業費	会議費 通信費 印刷費 事務局交通費	1,400,000 700,000 350,000 150,000	2,600,000
管理費	事務用品費 消耗品費 給料手当 (選挙開票アルバイト) 振込手数料・運賃	50,000 200,000 60,000 700,000	1,010,000
ワーズ事務委託費	ホームページ維持費 Web 会員名簿維持費 会員業務費 庶務業務費	300,000 189,000 600,000 784,300	1,873,300
会計業務費	税理士顧問料		460,000
支出の部合計			26,263,273
当期収支差額			1,173,527
前期繰越金			8,623,581
次期繰越金			9,797,108

日本放射光学会2008年度組織

■会長（任期：2007.1.1-2009.9.30）

雨宮 慶幸（東大）

■幹事（任期：2007.1.1-2009.9.30）

庶務幹事 百生 敦（東大）

行事幹事 山本 雅貴（理研）

編集幹事 櫻井 吉晴（JASRI）

渉外幹事 繁政 英治（分子研）

会計幹事 澤 博（KEK）

■評議員

（任期：2006.1.1-2008.9.30）

雨宮 慶幸（東大）

太田 俊明（立命館大）

大柳 宏之（産総研）

尾嶋 正治（東大）

木村 真一（分子研）

小杉 信博（分子研）

繁政 英治（分子研）

下村 理（KEK）

辛 埴（東大）

寿栄松宏仁（理研）

田中 均（理研）

藤森 淳（東大）

間瀬 一彦（KEK）

水木純一郎（原子力機構）

（任期：2007.1.1-2009.9.30）

朝倉 清高（北大）

安藤 正海（東理大）

飯田 厚夫（KEK）

大橋 治彦（JASRI）

籠島 靖（兵庫県立大）

加藤 政博（分子研）

鎌田 雅夫（佐賀大）

佐々木 聡（東工大）

澤 博（KEK）

高田 昌樹（JASRI）

竹田 美和（名大）

大門 寛（奈良先端大）

並河 一道（学芸大）

柳下 明（KEK）

若槻 壮市（KEK）

■行事委員（任期：2007.1.1-2009.9.30）

山本 雅貴（理研） 委員長

五十嵐教之（KEK）

岡島 敏浩（佐賀LS）

木村 真一（分子研）

木村 洋昭（JASRI）

佐藤 仁（広大）

田中 均（理研）

難波 秀利（立命館大）

羽島 良一（原子力機構）

堀場 弘司（東大）

松田 巖（東大）

■渉外委員（任期：2007.1.1-2009.9.30）

繁政 英治（分子研） 委員長

■編集委員

（任期：2006.1.1-2008.9.30）

池田 直（岡山大）

大橋 治彦（JASRI）

坂中 章悟（KEK）

沢田 正博（広大）

高橋 浩（群馬大）

田中 均（理研）

平野 馨一（KEK）

守友 浩（筑波大）

横谷 尚睦（岡山大）

（任期：2007.1.1-2009.9.30）

櫻井 吉晴（JASRI） 委員長

足立 伸一（KEK）

石井 賢司（原子力機構）

上田 和浩（日立）

宇留賀朋哉（JASRI）

岸本 俊二（KEK）

熊坂 崇（東工大）

隅谷 和嗣（佐賀LS）

田中 義人（理研）

津坂 佳幸（兵庫県立大）

初井 宇記（分子研）

松垣 直宏（KEK）

松田 巖（東大）

■20周年記念事業企画委員

雨宮 慶幸（東大；会長） 委員長

百生 敦（東大；庶務幹事）

澤 博（KEK；会計幹事）

繁政 英治（分子研；渉外幹事）

下村 理（KEK）

若槻 壮市（KEK）

寿栄松宏仁（理研）

高田 昌樹（JASRI）

小杉 信博（分子研）

太田 俊明（立命館大）

谷口 雅樹（広大）

村上 洋一（東北大）

尾嶋 正治（東大）

神谷 幸秀（KEK）

■2008年度の主な事業計画

- 第21回総会
2008年1月12日（於：立命館大学びわこ・くさつキャンパス）
- 第21回年会・放射光科学合同シンポジウム
2008年1月12日-14日（於：立命館大学びわこ・くさつキャンパス）
- 第12回学会奨励賞授与
2008年1月12日（於：第21回総会）
- 第5回若手ワークショップ
2008年夏季開催予定
- 第2回 AOFSSRR 開催（台湾，2007.11.1-2），第3回 AOFSSRR 準備（オーストラリア，2008.12）の協力
- 評議員会（11月，1月，4月，7月）
2008年度第1回（通算76回）評議員会
2007年11月17日（於：理化学研究所 東京連絡事務所 会議室）
- 幹事会（10月，12月，3月，6月）
2008年度第1回幹事会
2007年10月18日（於：東京大学工学部6号館 中会議室）
- 行事委員会（年1回開催）
2008年度第1回行事委員会
2008年1月14日（於：立命館大学びわこ・くさつキャンパス）
- 編集委員会（年3回）
2008年度第1回（通算81回）編集委員会
2007年10月15日（於：理化学研究所 東京連絡事務所 中会議室）
- 第13回学会奨励賞受賞候補者選定会議
- 次期評議員選挙
- 学会誌の定期発行（年6回）
Vol. 20, No. 6/2007年11月末発行
Vol. 21, No. 1/2008年1月末発行
Vol. 21, No. 2/2008年3月末発行
Vol. 21, No. 3/2008年5月末発行
Vol. 21, No. 4/2008年7月末発行
Vol. 21, No. 5/2008年9月末発行
- 「ビームライン光学技術入門（仮題）」出版準備
- 第22回年会・放射光科学合同シンポジウム（2009年1月 東京大学本郷キャンパス）準備
- 創立20周年記念式典（2009年1月 東京大学本郷キャンパス）準備

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2008年 5/20- 5/23	実習を主にした・初級者のための真空技術基礎講習会	大阪府立産業技術総合研究所	日本真空協会関西支部・(株)大阪府技術協会・日本真空工業会関西支部 E-mail: yamanaka@tri.pref.osaka.jp	21・2
5/30	日本表面科学会関西支部特別講演会「放射光軟 X 線分光法を用いた表面科学の研究」	(株)島津製作所関西支社 マルチホール	日本表面科学会関西支部 E-mail: khattori@ms.naist.jp	21・2
8/6-8/8	第21回 DV-X α 研究会兼第5回 DV-X α 国際ワークショップ—材料科学および X 線分光学に関する先端関連実験技術と理論—	兵庫県立大学姫路書写キャンパス書写記念会館	DV-X α 研究協会 E-mail: dvxa@eng.u-hyogo.ac.jp	21・2
8/20- 8/23	第48回真空夏季大学	伊豆 網代温泉 松風苑	日本真空協会 E-mail: ofc-vsaj@vacuum-jp.org	21・2
8/23-31	第21回国際結晶学連合会議 (IUCr2008)	大阪国際会議場	国際結晶学連合, 日本結晶学会, 日本学術会議 E-mail: iucr2008@congre.co.jp	21・1
9/8-12	第14回プラズマ理工学国際会議 (ICPP2008)	福岡国際会議場	プラズマ・核融合学会, 自然科学機構核融合科学研究所, 九州大学 E-mail: icpp2008@triam.kyushu-u.ac.jp	20・6
9/17- 9/19	日本セラミックス協会秋季シンポジウム特定セッション「原子レベル構造評価とダイナミクス」	北九州国際会議場	日本セラミックス協会 E-mail: yoshiasa@sci.kumamoto-u.ac.jp	21・2
10/27- 10/30	第21回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議	JAL リゾートシー ホークホテル福岡	第21回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議事務局 E-mail: secretariat@imnc.jp	21・2
10/28-31	第4回真空・表面科学アジア・オーストラリア会議 第49回真空に関する連合講演会 (併催)	くにびきメッセ	日本真空協会 E-mail: yoshio.saito@kek.jp	20・6

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

■実習を主にした・初級者のための真空技術基礎講習会

主 催：日本真空協会関西支部・(株)大阪府技術協会・日本真空工業会関西支部

日 時：2008年5月20日(火)～5月23日(金)

場 所：大阪府立産業技術総合研究所
大阪府和泉市あゆみ野2丁目7番1号

参加費：主催団体会員52,000円
協賛団体会員55,000円
一 般60,000円

定 員：60名

締切日：2008年5月12日(月)

連絡先：大阪府立産業技術総合研究所内 (株)大阪府技術協会
担当：山中
〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2-7-1
TEL：0725-53-2329 FAX：0725-53-2332
E-mail：yamanaka@tri.pref.osaka.jp

■日本表面科学会関西支部特別講演会「放射光軟 X 線分光法を用いた表面科学の研究」

主 催：日本表面科学会関西支部

日 時：2008年5月30日(金)15：40-17：00

場 所：(株)島津製作所関西支社マルチホール
(大阪市北区芝田1-1-4 阪急ターミナルビル14階)

内 容：太田俊明教授(立命館大学)「放射光軟 X 線分光法を用いた表面科学の研究」

定 員：60名

参加費：無料

参加締切：当日

連絡先：〒630-0192 生駒市高山町8916-5
奈良先端科学技術大学物質創成科学研究科 服部 賢
電話0743-72-6021 Fax 0743-72-6029
E-mail：khattori@ms.naist.jp
詳細は <http://www.sssj.org/Kansai/kouen080530.html>

■第21回 DV-X α 研究会兼第5回 DV-X α 国際ワークショップ—材料科学およびX線分光学に関する先端関連実験技術と理論—

第21回 DV-X α 研究会は、第5回 DV-X α 国際ワークショップを兼ねて開催します。機能性物質のナノからメゾを経てマクロ構造にいたる物性を研究している気鋭の科学者を海外から招請し、ナノ・メゾ・マクロ構造における物性の変遷の解明に挑む最先端実験技術に関する招待講演と討議を行う予定です。次に、DV-X α 法の関連研究者が講演と討議を行い、DV-X α 法によって現在の先端実験技術の限界をいかに相補するのか、また、そのためにどのような計算手法の進展が必要なのかについて新たに認識することを目的としています。皆様、奮って発表および参加をお願いします。

日 時：2008年8月6日(水)～8月8日(金)

場 所：兵庫県立大学姫路書写キャンパス書写記念会館

発表・参加申し込み方法：ホームページをご覧ください。

研究会・国際ワークショップホームページ：

<http://www.eng.u-hyogo.ac.jp/msc/msc9/dvxa/info.html>

発表申込締切：平成20年5月30日(金)

参加申込締切：平成20年6月30日(月)

講演報告書(研究協会会報原稿)締切：平成20年8月12日(火)

参加費：ホームページを参照下さい。

宿泊先：ホームページを参照下さい。

問合せ先：

〒671-2201 兵庫県姫路市書写2167

兵庫県立大学大学院工学研究科物質系工学専攻 森下政夫

電子メール (dvxa@eng.u-hyogo.ac.jp)

■第48回真空夏季大学

主 催：日本真空協会

期 日：2008年8月20日(水)～8月23日(土)

場 所：伊豆 網代温泉 松風苑

〒413-0102 静岡県熱海市下多賀660

受講料：一般79000円

日本真空協会法人会員に属する個人及び夏季大学協賛団体会員73000円

日本真空協会個人会員及び大学研究室員63000円

学生会員46000円

(いずれも宿泊費、食費、テキスト代、消費税等35000円を含む)

申込締切日：2008年7月18日(金)

問合せ先：

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8

機会振興会館306号室日本真空協会事務局

TEL：03-3431-4395 FAX：03-3433-5371

E-mail：ofc-vs@vacuum-jp.org

<http://www.soc.nii.ac.jp/vs/>

■日本セラミックス協会秋季シンポジウム特定セッション 「原子レベル構造評価とダイナミクス」

主 催：日本セラミックス協会

協 賛：日本放射光学会、他

会 期：2008年9月17日(水)～9月19日(金)

会 場：北九州国際会議場

(〒802-0001 北九州市小倉北区浅野三丁目9番30号)

発表募集：口頭発表(20分)あるいはポスター発表の募集

主なトピックス：測定・観測・解析・シミュレーション、特性評価やプロセスの専門家と一緒に交えた横断的なセッション。実験観測面と理論面からセラミックスの構造とダイナミクスに関する理解を更に発展させる。放射光、中性子、回折、分光、散乱等用いた構造情報、原子振動やイオン伝導などの動的情報、構造と物性の発現機構、未知構造解析を基軸とする新材料開発、MDや第一原理によるシミュレーション

招待講演：Arndt Simon (Max-Planck 固体研)、幾原雄一 (東大)、石原達己 (九大) 他

発表申込期間：5月10日14時～5月31日14時

発表申し込み方法：

URL：<http://www.ceramic.or.jp/ig-syuki/index.html> から申し込む。詳細は上記秋季シンポジウム URL を参照してください。

問い合わせ先：

熊本大学・大学院自然科学研究科

吉朝 朗 〒860-8555 熊本市黒髪 2-39-1

TEL：096-342-3415 FAX：096-342-3411

E-mail：yoshiasa@sci.kumamoto-u.ac.jp

■第21回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議

主 催：社団法人 応用物理学会

協 賛：日本放射光学会、他

会 期：2008年10月27日(月)～10月30日(木)

会 場：JAL リゾート シーホークホテル福岡
(福岡県福岡市中央区地行浜 2-2-3)

連絡先：

第21回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議事務局
(有)セクレタリーアート気付

〒115-0055 東京都北区赤羽西 1-5-1-710

TEL：03-3900-6744 FAX：03-3900-6741

E-mail：secretariat@imnc.jp

URL：<http://imnc.jp/>

● 会誌オンライン利用方法の変更に関するご案内 ●

編集委員長 櫻井吉晴

渉外幹事 繁政英治

日本放射光学会のホームページの一部更新に伴い、オンライン会誌へのアクセス方法が次の通り変更になりましたのでお知らせします。

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックして頂き、会員専用ページにアクセスして頂くことになります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr212

Password : haR4u1so

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等御座いましたら、繁政 (sigemasa@ims.ac.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、櫻井 (sakurai@spring8.or.jp) までお願いします。

一口メモ

ハナミズキ

北アメリカが原産のミズキ科ミズキ属の落葉性高木で、1912年当時の東京市から桜(ソメイヨシノ)をワシントンDCに贈った返礼として、1915年に贈られた花木として有名である。大気汚染に弱いので街路樹としては無理であるが、枝が横に張り自然に形がまとまるので庭木として植栽されている。春に白色または淡桃色の4枚の大きな苞葉に包まれた花をつけ、秋に赤い実がつき、紅葉も見事である。

最近の就職事情の好転、大学院進学の容易さで理工系学生にとっては苦も無く、簡単に希望がかないますが、将来社会の一員として活躍するためには正しい倫理観を持たせることが必要です。私は毎年、「技術者倫理」という授業を担当していきまして、倫理に関連する話題を提供した後に、学生に課題を与え、レポートを書かせています。例えば、昨年の世相を表す言葉として「偽」が選ばれましたので、食品の産地・賞味期限の偽装、論文の捏造等が題材となります。提出されたレポートを見ますと、学生たちはさまざまな意見の倫理観を持っていることを感じます。

(No. 80, K. Ohshima)

